

第9回全国部落解放研究者集會ならびに第26回部落解放研究所総会開催のお知らせ(開催要項)

日頃、部落解放研究の前進・発展に向けて御尽力いただいておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、毎年七月に開催しております全国部落解放研究者集會は本年で九回目を迎えます。当研究所といたしましては、以下の九つの柱を中心に、本年度の事業を進めています。①部落解放運動の発展にむけ、ひきつづき理論的、政策的裏づけにとりくむ。②解放理論の整理にむけた諸事業にひきつづきとりくむ。③啓発企画事業を充実強化する。④国内の反差別・人権擁護の運動や研究者との連帯を強める。⑤国際連帯活動にひきつづきとりくむ。「人種差別撤廃条約」の早期完全批准に取り組む。⑥国

際居住年・憲法施行四〇年にちなんだ企画に取り組む。⑦原田伴彦記念基金の目標達成と第二年度事業に取り組む。⑧組織・財政基盤の拡充に取り組む。⑨部落解放研究所創立二〇周年にむけた準備に取り組む。

とりわけ本年は、「部落解放基本法」制定要求国民運動が、「地対財特法」の制定によって一応の決着をみたものの、今後の新たな方向を打ち出す必要がある年です。また、狭山第一次再審闘争が本格的におし進められる年でもあります。また、本年は、国連が定めた国際居住年の年でもあり、さらに日本国憲法が施行されて四〇年という、記念すべき年にもあたります。こうした重要な年であることを踏まえ、こうした重要な年であることを踏まえ、第九回全国部落解放研究者集會では、「同和新法(地対財特法)下の部落解放研究の課題」をテーマに、全体会議と四つの課題別会議を行い、研究・討論を深めてまいり

部落解放研究所おしらせ

たいと考えております。(詳しいテーマは、左記開催要項を参照)また、あわせて催されます第二六回部落解放研究所総会では、以下の議題を審議いたします。

〈第二六回部落解放研究所総会の議題〉

第一号議案 一九八六年度事業報告

第二号議案 一九八六年度決算報告

第三号議案 一九八七年度事業計画案

第四号議案 一九八七年度予算案

第五号議案 一九八七年度研究所体制案

第六号議案 研究所創立二〇周年記念事業について

第七号議案 原田伴彦記念基金について

第八号議案 基本日程

第九号議案 その他

各位におかれましては、第九回全国部落解放研究者集會ならびに第二六回部落解放研究所総会に是非とも御出席頂きますようお願い申し上げます。

— 記 —

- 日時……一九八七年七月一日(金)午後一時より七月二日(土)正午まで
- 場所……奈良・あやめ池桃山荘(☎〇七四二一四六一五一一)
- 参加費……一万円(参加・資料代四千元、宿泊費三千元、夕食代三千元)但し、会員の方は、九千元(参加・資料代三千元)
- 問い合わせ……部落解放研究所
- 研究部(☎〇六一五六八〇〇六四)
- 事務局(☎〇六一五六八〇〇九〇五)

●プログラム(詳細は開催要項参照)

19 ~ 22	17 ~ ?	13 ~ ?	9 ~ 12	時間 月 日	7/10(金)	7/11(土)
課題別会議①				総会 研究者集会 (全体会議)	課題別会議②	
*なお、本年は、例年と違って金曜・土曜の日程を組んでおりますので御注意下さい。*また、申し込み金は、一切返還いたしませんのであらかじめ御了承下さい。						

●開催要項

- 7月10日(金)第1日目
- 12時30分 受け付け開始
- 1時00分 スライド上映(30分間)
- || 第26回部落解放研究所総会 ||
- 1時30分 ①開会あいさつ
- ②書記任命
- ③来賓あいさつ
- ④特別報告「狭山第2次再審請求について」
- 2時10分 ⑤議案審議・採決
- 2時30分 ⑥閉会
- || 第9回全国部落解放研究者集会 ||
- 2時30分 開会あいさつ
- 3時30分 全体会議
- 3時30分 討論
- 5時00分 事務連絡(日程説明・部屋割等)
- 5時10分 休憩・夕食・入浴
- 7時00分 課題別会議①(4分散会)
- 10時00分 散会
- 7月11日(土)第2日目
- 9時00分 課題別会議②(4分散会)
- 12時00分 散会

●各報告者とテーマ

- 全体会議(第1日、午後)
- 〈全体テーマ〉
- || 同和立法(「地対財特法」)下の部落解放研究の課題 ||
- ☆基調報告「今後の部落解放運動の方向」
- 大賀 正行(部落解放研究所 究部長)
- ☆各部門からの提起
- 啓発・運動部門
- 稲葉三千男(東京国際大学)
- 人権・行政部門
- 友永 健三(部落解放研究所)
- 教育・地域部門
- 鈴木 祥蔵(関西大学)
- 歴史・理論部門
- 渡辺 俊雄(部落解放研究所)
- 課題別会議(①は第1日夜、②は第2日 午前)
- ☆啓発・運動部門
- ①シンポジウム
- 「総務庁啓発指針批判と今後の啓発の方向」

☆人権・行政部門

- ①「地対財特法」下の同和行政の課題

(1)基調

- 友永 健三(部落解放研究所)
- (2)法律面から
- 高野 真澄(香川大学)
- (3)実態面から
- 上田 一雄(広島修道大学)
- (4)同和行政の面から
- 浅野 隆廣(大阪府同促協)

②討論

☆教育・地域部門

- ①「地対協意見書」と今後の同和教育
- 寺沢 亮一(全同教)

②(1)「解放奨学金貸与化と進路保障の課題」

- 研究教育運動部会
- (2)「アメリカの解放教育の現状」
- 「マイノリティの学力保障と異文化コミュニケーションを中心」
- 平沢 安政(研究所総論部会)

☆歴史・理論部門

- ①近代部落史研究の現状と課題 (報告者交渉中)
- ②米騒動と部落問題 — 70周年を前にして
- 藤野 豊(近現代史研究者)
- (注)要請中も含まれます。